MAMA
～ママを守る為に
僕がした事～
サークル
スーパーイチゴチャン
原作
DraGon9
作画
みさおか

MAMA
～ママを守る為に
僕がした事～

んぐっ…
んぶぅっ…

ふぅっ
ふぅっ
じゅっぽ
じゅっぽ
じゅぷっ
んっん…っ
じゅぷっ
じゅぷっ
ぐぷっ
ぐぷっ
ぐちゅっ
ぐぷっ
ぐちゅぽっ
ふっ…
みゆき…
もっと
深く舐めろ…
は…い…

ズルー…
んっ
レロレロ
ちゅぷぷぷ…
んっ
ラーッ
おぁ!! いいぞっ
ラーッ
おらっ もっと吸え! 早く!!
あぷっ…
ジュボッ
ジュボッ
ジュボッ
ガク
ガク
キラッ
Mothday
んんっ…

ちゅぷっ
お前がいけないんだぞあんな出来損ないを産むから…
ちゅぷっ
ニャニャ
アレは本当に俺達の子供なのか？
ハァッハァッ
…はい…
タプッ
ゲルッ
ローションを出せ
あ…
なんだ不満そうだな？
ビクッ
俺にもお前にも全く似てないじゃねーか…
もしかして…お前あの頃浮気したんじゃないよな？
…ッ
ドッ
いえっまさか…そんな…
ドッ

おい…返事聞こえねぇぞ

私…浮気なんてしてません…

じゃあどうしてあんなのが産まれたんだ？

俺とお前のDNAなのに…

きゃっ

いっ

ウソをついてないか身体に聞いてやる…

あっあああ…ッ

ああっ
やめてッ
あなたっ
そこっ
お…
お尻は…
何だぁ？
お尻は
もうイヤ
ですっ
あっ
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ
いや止めない…
コレに耐えたら
オマエを認めてやる
ははは…
楽なもんだろ…笑
大きいのが
好きだろ!!
ほうら!!
三本入ったぞ
ぐちゃ
ぐちゃ
ズボッ
ズボッ
ズボッ
あッ
あぁ
ズク
ズク
いやっ
ちゃぷ
ちゃぷ
ちゃぷ
あッ
おおっ
お前の直腸
あったけぇ！
あっ
ぬる
ぬる
ぬる

ぢゅぶっ
ぢゅぶっ
あーっ
あっ
おらっ
気持ちいいか！
気持ち良すぎて
糞漏らすなよ！
みゆきっ!!
はぁッはぁッ
はぁあっ
あああぁ
あなたっ
あぁっ
ぢゅぼっ
ぢゅぼっ
ぎゅムッ
ぐりゅん
ぐりゅん
ああっ
いっ
ぎゅムッ
メス牛みてぇな
デカ乳しやがって！
ひぃいっ
ニッ
いやあああっ
ぎゅぎゅぎゅッ
やめてえええっ
キラッ
mother's da

…ううっ…
ひうぅ…
ハァッ
ハァッ
ハァッ
はあっ
ああッ
はあっ
はあっ
……っ
ハァ
ハァ
ママ…
みゆき　お前
もうイッたのかよ？
スケベな女だな
よし次は俺だ
乳出せ…
ハァッ
ハァッ
にゅぢっ…
はい…
ママ…

そうだ

はい…

だぷん

たっぷりな

トロォ…

ムニュッ

たぽっ

たぽっ

ヌチュ

ヌチュ

ヌチュ…

グチュッ…

ハァ…

ハァ…

みゆき！乳からはみ出たちんぽの先を吸えっ
はい…
ずゥるるるる～
ヌポ
ヌポ
ヌポ
ヌポ
ヌポ
しゃぶれっしゃぶれっ!!
ぬぢゅ
ぬぢゅ
ぬぢゅ
ぬぢゅ
ぬぢゅ
おっおおっ出るっ出るっ！
ちんぽ
ビクッ
ビクッ
ちんぽ

うおおおぉ
ドピュッ
あっ…
くっはぁっはぁはぁっ
チンポ吸えっもっと強くっ
ビュクッ
ビュッ
ビュッ
ううぅ…うはぁっ出た～～～っ
…くっ
ズチュズチュ
ハッ
ママ…ママッ
ハッ
ズチュ

全部飲めよ みゆき…
ぐいっ
あ…
はぁ…
ドッ
ドッ
んぐ…
ハッ
ハッ
ゴクゴク
さぁ綺麗に掃除しろ
ぐっぐっ
フーッ
フーッ
尿道のも吸い出せよ
ぴちゃ
ぴちゃ
はい…
ギュッ
ギュッ
ギュッ
丹念にな…笑

おぉ！そうだ
最後の一滴までだ！
ハァッ
ハァッ
ハァ
ごくんっ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ドピュッ
うぐぅぅぅッ
イクッイクッ!!

はぁ
はぁ
はぁっ
ママ…
ドタン
フラッ
ドサッ
お母さんの着替えを見たくて忍ばせたクマのぬいぐるみは思いもしない光景を映し出した…
すー…
すー…
それは父親のお母さんに対する屈辱的な性的虐待だった…
異常だとわかっていてもそれを観て興奮してしまう自分が情けなかった

チュン
チュン

…！
ビクッ
今…何時ッ!?

もう昼過ぎ！
今日は大学の合格発表ここが本命…
バッ
ブルッ

滑り止めが不合格だった今…
ここがダメなら…
浪人決定…

神様お願い…！
ドッ
ドッドッ
ドッ
試個別学部日程
不合格
志望学部
大学マイページ
gmail.com 様
オンライン合否案内
一般入試個別学部日程

え…
落ち着け…
もう一度……
……ッ
無い…
落ちた…
どうしょう…
父さんに…
なんて言おう
不合格だった
ごめんね
父さん
記号
あ
か
←
た
123
ま
ぁぁ…
あの時も
怖かったなぁ
父さん……

私立中学受験…
当時成績は良く
模試の志望校判定は
必ずA判定だった
でも何故か
本番では受験した
すべてに落ちた…
あの時の父の
落胆ぶりは
凄まじく
それは
すぐに
怒りに
変わり…
僕は散々に
侮蔑的な言葉で
罵られた…
高校受験でも
第一志望には
やはり不合格…
荒れた父は狂人とも
思える程だった…
今思い返しても
辛く惨めな記憶だ…
お母さん…
ぶぷぷぷ
うん…拓郎
どうだったの？

ごめん…

ダメだった…最後の大学も落ちてた…

拓郎…

泣かなくていいのよ

ズビッ

拓郎ならもう一年頑張ればどんな大学でも合格するから…

ふぐぅぅぅッ

ズビッ

ぐぅぅぅぅぅ～…

ごめんなさい…おかあさん…

ぐっぐぅ

大丈夫よ!!元気出して

お母さんにこんな事言わせて僕はなんて親不孝なんだ…

拓郎は頑張ってた…

お母さん知ってるよ拓郎は一生懸命勉強してたよね…

ぐっ

ぎゅ…

ズビッ

ふわっ

拓郎おいで…

ぎゅう…
ママ…

拓郎また頑張ろう…
お母さん応援するから
ドキ
うん…
ドキ
ビクン

……っ
おっぱい……
ポリポ
チラ
おっぱい……！
……ッ♡
プニ
プニ
ドキッ
ちゅ ちゅっ…
ん？
プル
プル
どうしたの拓郎…？
……
あ……いや……
辛いのね…
うんうん…今日だけは思いっきり泣いていいよ
……ッ
ビキッ

ママはいつだって僕にやさしい…それなのに僕は…

ドキ

すすり…

こんな時もエッチな事を考えてる…

ドキ

ドキ

お母さんッごめん……

ペロッ

ピクッ

！

落ち着いて拓郎

そのままでいいのよ

拓郎の涙は汚くないから！

レロッ

いいや！汚いよっ

もうちょっと…もうちょっとだけ…

レロレロ

僕キレイにするよっ!!

ペロン
ペロン
あぁ…ママ…！
レロ…
拓郎…
あっ
ぐっ
！
ポロッ
プルッ
プルプルッ
ぷるんっ

ドキ
ドキ
お母さん…
……
もにゅっ
はぁ
ずしっ…
ドキ
はぁ
ドキ
ドキ
ドキ
んん…
プルッ
ハァ…
プチ…
プチ…
グッ
プルッ

落ち着いて拓郎
大丈夫心配いらないのよ
はぁッ
コテン
お母さんこれからも拓郎をずっと応援していくから安心してね！
あ…
さぁ天気出して!!
今から美味しいご飯を作ってあげるから！
まずは体力よね♡
……
うん…
バタン
ズル…
ぐぐ…

ブルンッ

ママのおっぱいでもの凄くなってる…

メル…

ママ…

くちゅ…

はあっ…

ママぁ…

ママのおっぱい…やわらかかった…

はあっ

ビクッ ビクッ

それにあの甘い匂い…すごく心地良かった…

ママ…
ハッ
ハッ
ハッ
ママッ
い！イクっ
おっぱいっ
ハァハァ
イイッ！
ハァッハァッ
気持ちいい
…イイッ!!
イクッ！
イクっっ
イクッ～っ
イクッ！
ハグウウウ～っ
ビク
ビクッ
ビク
ドピュッ
ドピュッ
ドピュッ！
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ

はぁっ
はぁぁ
ガクッ
はっ
はぁぁ
は〜〜
は〜〜
はぁぁ…
ボスッ
ママのおっぱい…
もう一度触りたい…
ハァッ
ハァッ
すべすべしてて…
手に収まらない
くらい大きくて…
おっぱい触ったの…
子供の頃以来だ…
ママ…
ママ…♡

拓郎？
コンコン
拓郎～？ごはんできたわよ～
ビクッ

わあっ
ほわああ…

UPGRADE
英文法・語法問題
……ッ

えへへ…

くすっ
寝てたの？その寝ぐせ…

お母さん…父さんから連絡来た？
ううん…まだ…
不合格だったごめんね父さん
既読
午前3:42
いつもの既読無視…
お母さんから父さんの反応を聞きたかったけれど…
直接話すしかなさそう…
だよね…
さぁ拓郎！来年に向けてたくさん食べよ！
まずは体力！体力!!
うん…
おいしい…
もぐ
もぐ
…お母さん…優しい…
いつも僕の味方で居てくれる…
でしょ！いっぱい食べてね！
お母さん本当に美人だ…
お母さん…
本当にありがとう…
どういたしまして♪

ねぇお母さん覚えてる？
家庭科の授業で蒸しパン作ったこと
あぁ！
うん！覚えてるよ美味しかったよねあの蒸しパン♡
その日は家庭科の授業参観で親子で蒸しパンを作った
その時同じ班の女の子から…

そういえば昔僕が産まれた時の写真を見せて貰った事がある

初産だったこともあり難産だったと話してくれた…

写真の中のお母さんは涙を浮かべて僕をしっかりと抱き幸せに満ちた表情をしていた…

そうだよねずっと一緒にいてくれた

本当に僕のことを大切にしてくれてた…

できたよ☆

おかあさん…やっぱり美人だ…

ポー…

あ！

そうだ拓郎！ホイップスプレーがあるよ！

…そして天然で子供っぽい…

でも蒸しパンに合うかなぁ!?

合うかどうか試してみようよ！

いつも楽しいことを教えてくれる…

シャカ シャカ

はいじゃあ次は拓郎くんやってみて！

うん！

ブシュ
アア
わ〜〜〜っ！
もうっ拓郎！
わあああごめん…
ベトォ〜
ほらね！拓郎はおっちょこちょいよね！
確かに前も同じ事したもんね！

図らずも
お母さんの胸を触ってる
ことになる…

ムダにしちゃったわね～…

でもこれは
拭き取ってあげてるのだから
大義名分はあるわけで…

ドキ

ドキ

プニ プニ♥

そうだ！
ここはもう
着替えて
もらおう！

ドキ

ドキ

お母さん！
…これ一旦
脱いでさ
着替えて…

ガチャッ

チラッ

お前…

飯食ってオマケにケーキまで食べてたのか!?

おいおい？大学落ちといてホームパーティーかよっ!?

あ…あなた…これは私が…

ダンダンッ

拓郎！お前は一体何考えてんだ!?

え!?

これからどうするつもりなんだ！

中学も高校もしまいには大学受験も失敗しやがって！

お前は部活も入ってないし

バイトしようにもどこも面接落ちて！

彼女もいねぇし！

ヒマでいくらでも受験勉強出来ただろうがっ！

…いつも思い出したくない事ばかり…

……

なんだ黙ったままで男のくせに返事すら出来んのかっ！

この根性無しがっ!!

バタン

ビクッ

みゆきちょっと来い!!

はっはい！

おいみゆき！お前は何をしてるんだ!?

あいつは一体どういうつもりなんだ!?

拓郎は本当に頑張ってたのよ…

学内テストも良くて校外模試もA判定だったの…

先生との面談でも太鼓判を押されたほど……

だったらなんで落ちたんだよ！

そ…それは…拓郎も以前の事があるから緊張したのかも…

少し…プレッシャーを感じたと言うか…

おいおい
それじゃあ
プレッシャーかけた
俺が悪いとでも!?

いいえまさか
あなたが
悪いんじゃ…

ドンッ

きゃあっ

お前が！
お前がアイツを
甘やかしたから
だっ!!

ダッ

カチカチ

僕のせいだ…

あなた…

…ごめなさい…

ただ…
またお母さんが
僕のことで
責められてる…
みゆき
口を開けろ
あ…
ぐっ
早く
開けろ！
あぁッ…
ちゅぽっ
はい…
罰だ…
咥えろ
お母さん…
しないで…

ジュポッ
ジュポッ
出したくなったら直ぐ出すからなぁ！
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ
ジュポッ
よーし出すぞ！
ぐっ
ジョボッ
しっかり口閉じておけよ!!
ブボボボボッ
アイツが落ちたのはお前の教育が悪かったからだ!!しっかり飲んで償えっ！
コラ！こぼすんじゃない！
全部飲むんだッ!!
ジョボボ
あ～～気持ちイイッ！
みゆきこれがお前への罰だ！
拓郎の面倒を見きれなかったからな！
シッケだ！躾っ！ありがたく飲め！
えっ…!?お母さんにオシッコを飲ませてるんだ…

お前が悪いんだぞ…あんな弱っちい負け犬に育てやがって…
ふぅ
さぁ休憩は終わりだっ！もう一度口開けろ!!
ふぅ
最後に奥の奥に流し込んでやるからよ！
ギリ
ギリ
…お母さん…しないで…!!
うぷっ
どうだ！美味いか！ちょっと休憩だ！
ふ～～ッ
ビチャア…
ふ～
んぐぅぅぅッ
ゴボッゴキュッッ
よーしもう少しだ一滴残さず飲み干せよッ
ゴブッゴボボッ
ああ…ママッ…ママ…
ホラ吸えっ！吸い上げろ!!
ガタ
ガタ
はぁっ
ぶはっ
がはっ
それじゃあ俺はちょっと仕事の付き合いで出掛けて来るから…
ゴボッ
ゲホッゲホッ
あの根性無しにはキツく言っておけよ!!

ダッ
お母さん…！
なんだお前まだそこにいたのか？
ぬっ
ビクッ
ギロッ
は～
おいおい今更受験勉強か!?遅えよ!!
……
お前はまったくどうしようも無いヤツだ！あ～あ…
ガチャン
!!
お母さん…!!
お母さん!?
ガチャッ
開けるよっ

お母さん…？どうしたの？大丈夫!?

ん…大丈夫よ拓郎…

うっ…

ツン…

お母さん!!大丈夫なんかじゃないでしょ！

僕…聞いたんだからっ！これお父さんのオシッコの臭いだよね!?

もうッお母さんッこんな事させられてなんで嫌って言わないのっ！

僕の事にかこつけてお母さんをバカにして…！

こんな無茶苦茶な事されて！お母さんは嫌じゃないのっ!?

拓郎…

お母さん…!!

……昔は…あんなじゃなかったのよ…

…優しかった…

…お母さん…

もう今はその頃の父さんじゃないでしょっ！
それ…わかってるでしょ！お母さんも！
……
僕…知ってるんだ父さん…浮気してるよね
見たんだよ街中で父さんが若い女の人を車に乗せるところ…僕…見たんだよ！
今日だってきっと女の人の所だよそうに決まってる！
……

ツー…
お母さん…お風呂入ってよ僕すぐに用意するから…
ごめんね…ありがとう…拓郎
ううん僕のせいでお母さんがこんな目に遭ってるんだから…
拓郎は悪く無いよ…だからそんな風に言わないの…
…とにかく今はゆっくりお風呂に入ってお母さん…
…うん

怒涛の一日だった……
ホッ
お母さん…
すう…
すう…
ガターン
ビクッ
お母さんっ!?
ダダッ
ハァ
ハァ
あっ拓郎ごめんねッちょっと立ちくらみしちゃって…
お母さん…
今夜…僕の部屋で休もう…
どうせお父さんは今夜帰って来ないよ…
……
僕…なんだか怖いんだ…
お母さんの事が心配なんだ！
拓郎…
ね…今夜は僕も落ち着かないんだ…
ぎゅっ
あ…

タン
タン
プルッ
プルッ
プルッ
お母さん…ノーブラ…
…拓郎
ありがとうね…
…ううん
こんな時でさえ僕は…そこに目が行ってしまう…
ドキ
ドキ
お母さん…今日は本当にごめん…僕が合格さえしていれば…
ううんお母さんが余計な事を言ってしまったから…
拓郎のせいじゃないよ…
…
あっ拓郎
電気は真っ暗で大丈夫？
ぷっ！もう僕子供じゃないよ！
でも今夜は昔みたいにオレンジの豆電球にしようか！
そうね！怖がりさんだった拓郎を思い出しながら…ふふっ♪
ピピッ
はい！

さぁ今夜はもう寝ましょうか！
明日はお休みだしぐっすり眠れるね…
ドキ
ドキ
うん…
チラ…
お母さん…すごく惨めだった筈なのに明るく振る舞ってくれてる…
お母さん…僕と寝るの嫌じゃない？
ん？なんで？そんな事ないよ
拓郎と寝るのなんだか懐かしくていいね…
そっかそれならいいけど…
おやすみ拓郎
うんおやすみ
お母さん
……
……ッ
お母さん…
なぁに？拓郎
今日…あの時…なんで僕を拒まなかったの？
あの時…？
それは…その…お母さんの胸…触った時…
…あぁ

それはね…

拓郎が可愛かったからよ

かっ…かわいい!? 僕が?

プッ

まぁ…可哀想じゃなくて良かったけど…

そりゃあそうよ! 私の子供よ!

優しくて可愛い自慢の息子よ!

受験に落ちてばかりの僕を自慢だなんて…余計に申し訳ない…

いや! お母さんの方がぜんぜん可愛いよ!

本当に僕の自慢のお母さんだよ!

そう? ありがとう嬉しいな…

あっはははは

プッ…

あ! だったら私たちかわいい者同士だね!

それじゃあかわいいふたりは仲良く手を繋いで寝ましょうか!

ドキドキ

……

ぎゅっ

ドキッ

……
ギン ギン
すー すー
ふに
すー…
すー…
ドキ
ドキ
ギン…
ドキ
ママ…
なぁに？
パチ

ええっ!? 起きてたの!?
うん まだ起きてたよ～
なんだよぉ～ もう！言ってよ～
え～っ!?
…拓郎…
もっと こっちにおいで
うん…
お母さん… 温かいね…
やわらかくて… お風呂上がりのいい匂い…
拓郎も 温かいよ…
お母さん…

…お母さん…笑わないでね…
ドキ
うん…なぁに？拓郎…
ドキ
あのね…昔みたいに…ママって呼んでもいい？
子供の頃みたいに？
ふふっ！拓郎がそう呼びたいんだったらいいよ
ホッ…
あっでも2人の時だけね！
うん！ありがとう！

小5の頃…
あのねママ！
なぁに拓ちゃん？
おい拓郎っ
お前いつまでママなんて呼んでるんだ!!
そんなだから下級生にまでバカにされるんだぞ！
明日からお母さんと呼べ!!
…！
その日から僕は心の中でしかママと呼べなくなった…
…ママ…
ん…なぁに？拓ちゃん…
拓ちゃんは本がだいすきね！
うんっボクママと本がだいすき！

ガバッ
ママッ
ああああっ
ママッ…！
どうしたの？
ママはここに
いるじゃない!?
ママッ
ママぁあッ
ママ～ッ
拓郎…
どうしたの…
うぁあぁ
ぎゅっ…
ママは
ここよ…
ああぁッ
ああああっ
ママ
ごめんっ!!
どうして！
どうして!!
落ちたんだろう！
あんなに勉強した
のに!!
僕ッ今度こそ
受かってママを
喜ばせたかったんだ！
拓郎…

拓郎…そんな風に思わなくていいのよ…

ママはね…拓ちゃんが頑張ってた事ちゃんと知ってるんだから…

それにねママは拓ちゃんとあと一年一緒に暮らせる事がすごく嬉しいのよ！

キュッ

さぁ…だから泣き止んで…

ほら…こんなに涙で濡れて…

ママ…

ぐすっ

…ママ…

きゅうう…

パッ

……

ドキ

ドキ

ドキ

ドキ

4ギュッ

……ッ

ドキ
ドキ
ドキ
プチ
ドキ
プチ
ダプン
ドキッ
ドキッ
たぷたぷん、
プルル

ムニュ…
ママ…
ハッ!
ムニュ

ムニュッ
スリ
スリ
はぁ
はぁ
ムニュッ
ブニュッ
スリ
んっ…
ピクッ
ピクッ

たぷっ
たぷっ
ハァッ
ハァッ
ハァッ
ギシッ
グリ
グリ
ギシッ

はぁ、
はぷっ
くぅ…
ぴっ
ぴくっ
ちゅぱっ
もにゅ
もにゅ
ちゅぱっ
ぎゅ
ぎゅ
ちゅぱっ
ちゅぱっ
ちゅぱっ
ぺろ
ぺろ
んっ…
あぁ…
ぴくっ
ママ…
大好き…

ばくっ♡
ビクンッ
プルン
あっ…拓ちゃん…
プルンッ
ドッ
ドッ
はぁっ
あっ
ビンッ
ビンッ
はぁっ
ママ…ッ
ちゅぱっ
ちゅぱっ
ちゅぱ♡
ぐリ
ぐリ
ママ…
ズポッ
ぐリ
ぐリ
はぁっ
はぁッ…

ぷちゅっ
ママ…
んっ…
んんっ
ちゅぱっ
ぢゅうう
ビクッ
ぢゅぱっ
ちゅっ
ぢゅぱっ
ぐり
ぐり
ぐり
ふっ
うっ…
ビクッ
ぶーぶーっ
はぁっ
はぁっ
ぐにっ
ぐにっ
ハァッ
あっ
ハァッ
パッ…
拓ちゃん…
レルレルレルレル
ハッ
ここまで…
ね…

ねっ…拓郎
ハーアッ
ハーアッ
ママ…
僕ッママのことが好きだ…
……
ママはお父さんのことどう思ってるの？
いつも酷い事されてるよね！
それにいつもママをバカにして…
僕…それがすごく嫌なんだ!!
だってママが可哀想だよっ！
ううん拓郎ママは大丈夫だから…
昔はああじゃ無かったのよ…
だからもうその頃のお父さんじゃないでしょ!?
ねえっ！ママっ!!
……
…そうね…
もう…無理なのかも…
今夜は少し疲れたね…
拓郎もずっと苦しかったよね…
ほんとにごめんね…
…ううんママは悪く無いよ…
もう…今夜は寝ましょう…
うん…
おやすみ拓郎
おやすみママ…

翌朝

おおぃ みゆき!!

……ッ!

ガバッ

バタン

……

あっあなた お帰りなさいっ!

ン!? お前 拓郎の部屋 から…?

た…拓郎が 具合悪い みたいで…

へっ!大学落ち て 療養中かよ どこかの政治家 さんみたいだな

いや~ 疲れたよ

付き合いで 呑んで麻雀 させられてさ

ポイ

ポイ

女物の 香水の 匂い…

シャワー 浴びて くるわ

ドスッ
ふぃ～～っ
あなたお水を…
おいみゆき脱げ
あ…でもまだ明るいし拓郎が二階に…
なぁに浪人生なんてこの家に居られるだけでありがたい事なんだ！
親に文句なんて言える立場かよ
…はい…
なぁ！みゆき！
はい…
ケツ穴舐めろ
は…い…

くぁっ
あひっ！
くふぅッ！
気持ちイイ～ッ
Mother's day
ぐちゅぐちゅ
ぢゅぷぢゅぷ
ハァ
レロレロ
みゆきっ
もっと
ケツの穴に
喰らいつけ！
俺はしっかり
精子出さねぇと
眠れないタチ
だからな！
ニュチ
ニュチ
ハァ
ハァ
ハァ
ぐっ…
くそっ
やっぱり
みゆきはケツの穴舐め
させたら日本一だな!!
しっかりホジって
あの不合格野郎のことを
忘れさせてくれよぉ！
みゆきぃ……笑
ふーッ
ふーッ
ヌポ
ヌポ
ぐちゅぐちゅ
そうそう
舌を尖らせて
突っ込め!!
ポ
ポ
グリグリ
抜き挿し
しろッ!!
それだ！それ！
そのまま
一時間やれ！

散々外で女遊びした後にッ…

どうだ！美味いか俺の肛門は!!

どうだよ！みゆき!! 答えろよっ！

僕の大好きなママに肛門掃除なんかさせて…

こんな…こんな…ママをコケにしてっ!!

バンッ

おおおっでるでるッ

ジュコ

ジュコ

ジュコ

うはっ…ッ

ビュル

ビュルッ

ビュル

そのままチンポを下に引っ張ってしごけッ

ガッ

ぐっ

おーおおお

ジー…

バタン
あ…
あっ…拓郎…
グッ
ちょっと！
お母さん…
TAKURO
またお父さんに酷い事されたんでしょ！
いくら言いなりになっても我慢して耐えてもお父さんはもう優しくはならないよ!!
……
もう！もうこんなのやめようよ！
ねえ！ママ!!
拓郎…
あなたは今は受験勉強をして…お願い…
ママッ！どうして分からないの…!!
ガシッ

んんッ
ぷちゅ
ラブ
んッ
くちゅっ
ヌチュ
ヌチュ
んくっ
拓ちゃんっ
ママっ聞いて！
来週お父さん出張だよね…
その時…おばあちゃん家に逃げようっ!!
……ッ
おばあちゃん…

2年前

最近顔を出さないけど周一さんとは上手くやってるの？

…うん！

もちろんよお母さん

だが実際は事業が拡大し軌道に乗ると周一はそれまでとはうって変わり外に女を求めた

高級車を次々と買い漁りキャバクラや風俗通いが派手に始まった

無断外泊が増えた頃愛人らしい女とのSNSのやり取りを知るに至った

それでもいつかは戻って来てくれると信じ耐えていた…

ふ…

きっと…いつか…みゆきのそんな微かな願いをことごとく踏みにじる周一だった…

……ッ

今週末逃げよう!!

いいねっママッ

ちゅる
ママッ…
……ッ
父さんはママを大切にしてないよっ!!
ちゅる ちゅる
もうやめようこんな生活ッ
ちゅぱっ
ぢゅぱっ
ハァ
ムニュ
ムニュ
ハァッ
はぁっ!
ぷくっ
もにゅ。
拓ちゃ…ん
ムニュ
バッ
あっ
ガシッ

おい…こらァ…

ドンッ

オマエら…何してるんだ…

あ!?

ブンッ

このックソガキがぁっ

ハゴッ

ガッ

みゆきぃっ！お前も何ヤラセてんだよっ！

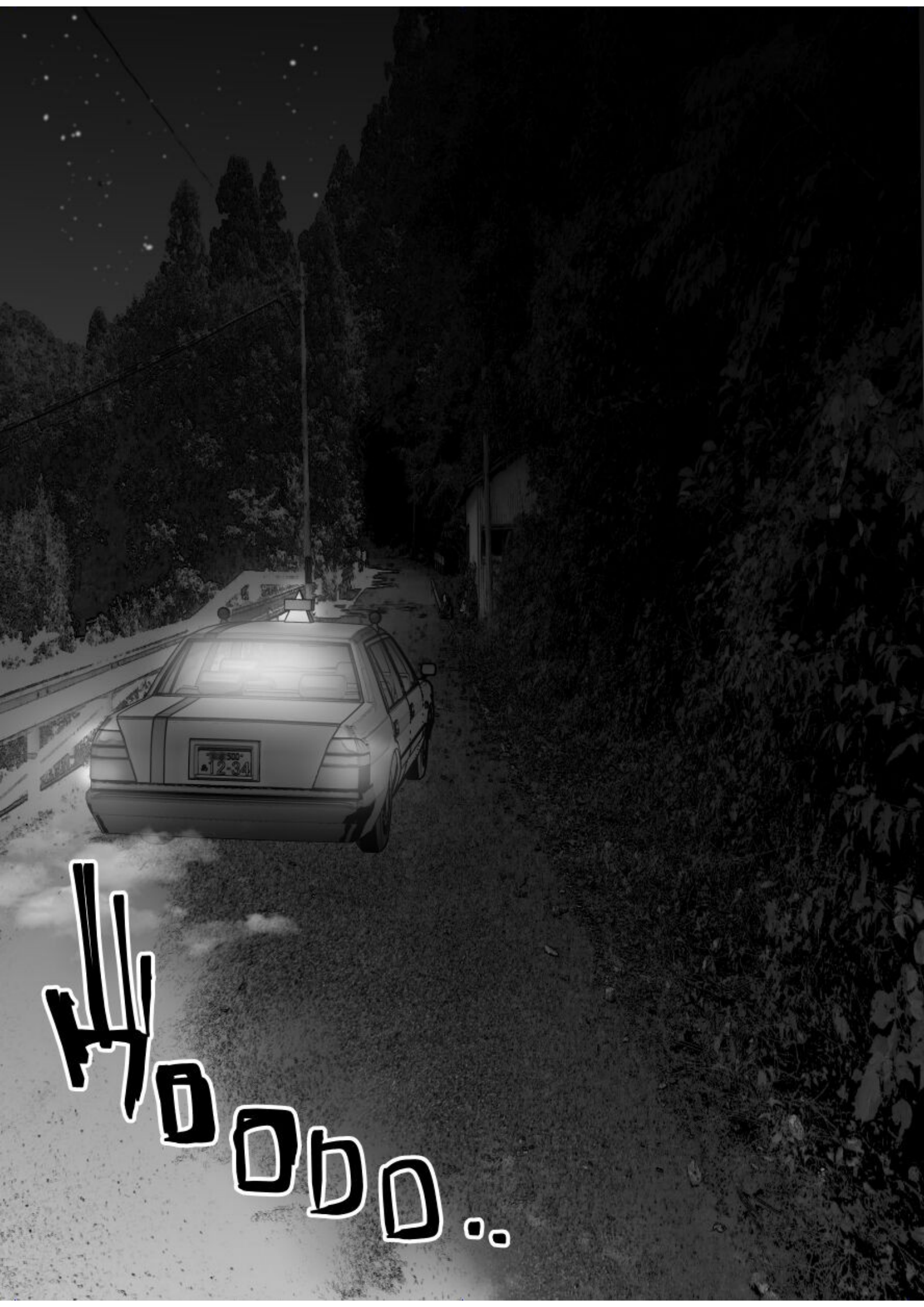
ああぁっ痛いっ！

ズザァッ

きゃあっ拓郎っ！

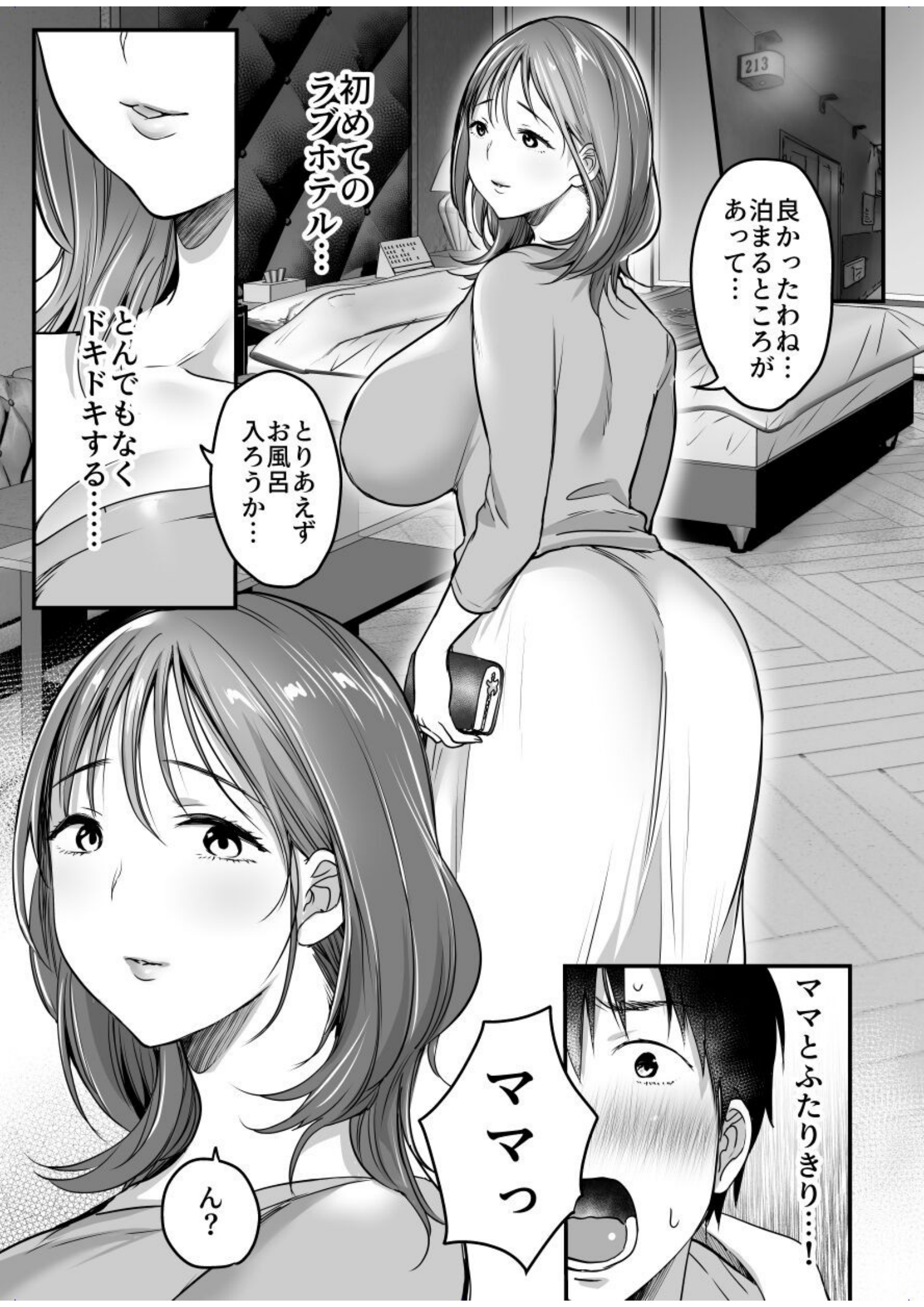
がはッ
ママッ
ブッ
ぐあああっ
あっああああ
ズキン
ズキン
ガク
ガク
ママっ逃げようッ!!
今すぐ逃げるんだっ!!

ぎゅっ
拓郎っ！
貴様らぁッ このクソども がぁぁっ!!
ダッ


ドドドド..

そうですねぇ…

もう少し走ると古いホテルがありますよ…まぁラブホテルですけどね…


良かったわね…泊まるところがあって…
初めてのラブホテル…
とりあえずお風呂入ろうか…
とんでもなくドキドキする……
ママとふたりきり…！
ママっ
ん？

きゃっ

ドスッ

拓郎っ!?

ママ…ッ僕ッママが好きだ！

僕がママを幸せにするからっ

もう父さんとのことは終わらせてっ

拓郎…でもこんな…っ

うぐっ!?

拓郎！お願いっ

待って！落ち着いてッ

イヤだ！止めない！僕はママを愛してる

父さんなんかよりずっと…！

んぶっ…

やめって…拓郎…っ

あぁっ…

プチッ
んっ…
ぶるりんっ♡
はぁ…
はぁッ
はぁっ
ばくっ♡
ああ
ああッ
ゾクゾクッ
ちゅぱっ
ちゅぱっ

くぁっ
あっ…
ぢゅるる、
グリ
グリ
だ…めっ
ビク
ビク
ビク
やめ…
なさいっ…
拓郎を
止めないと…
ぢゅるる
ぢゅる
でも乳首が痺れて…
押し返せない…
あっあうっ…
いやあぁぁっ
ビクッ
ドッ
ドッ
ビク
気持ち…
いい…
あっ
レロ
レロ
あはぁっ
ああんっ
はっ
はぁっ
ヌルッ
!!

ヌルッ ヌルッ
あっ…
ママ…すごくビチャビチャ…
んっ！
ピク
あ…
ピクッ
クリクリ
ヌチュヌチュ
あっぁぁっ
ビクビクッ♡
はぁあっ拓郎…
だっ
ビクッ ビクッ
ヌチュッ
はぁっ
ぬちゃぬちゃ
そんな…ダメっ!!
ぁぁぁっ…
ぬちゃぬちゃ

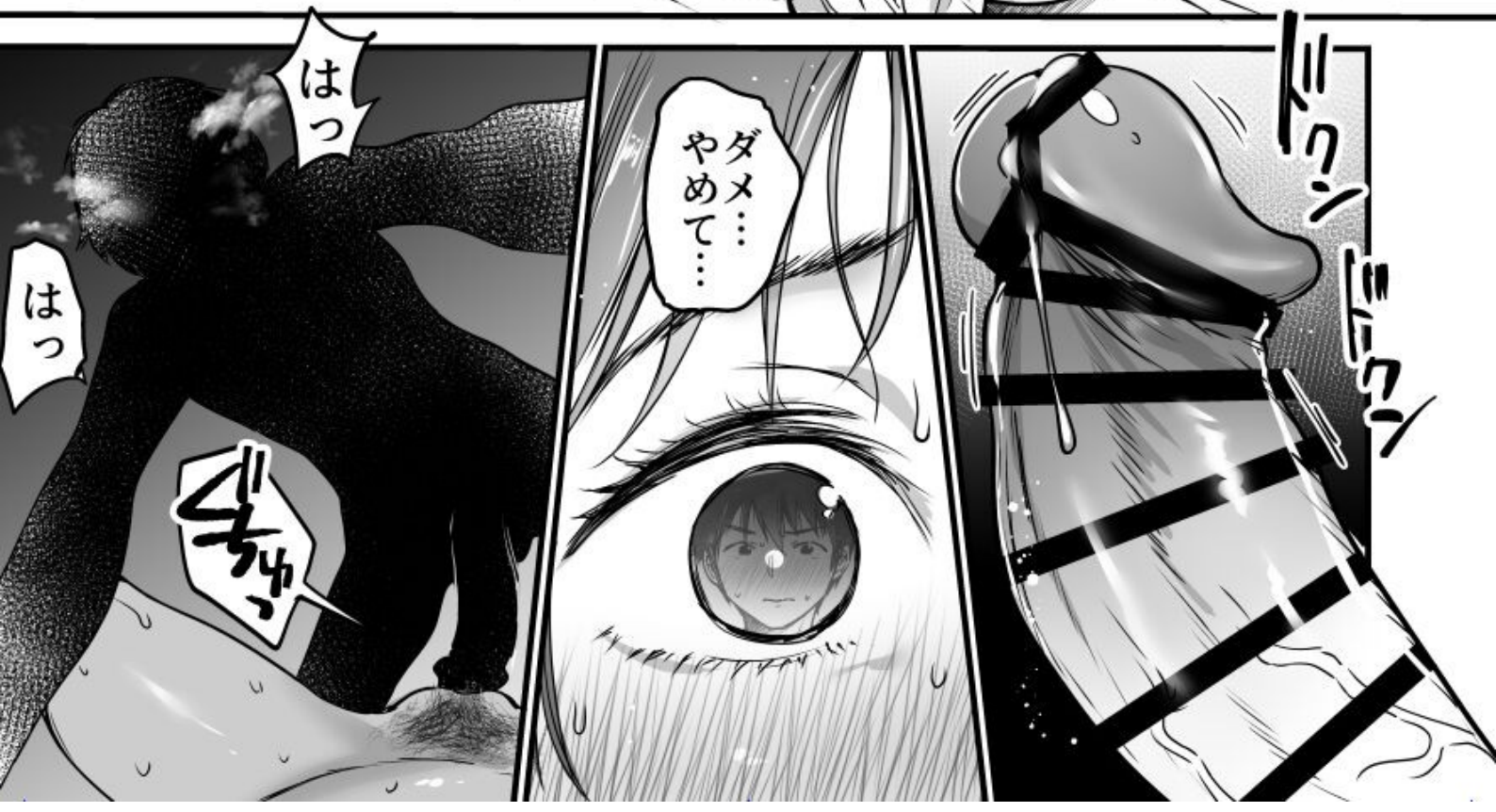
スッ
あ！
クン
ドキドキ
クン
それは駄目っ！
ドキ
…っ拓郎…
ドキ
いや…
ズルルッ
ぬちゃあ♡
ドキ
ドキ
いやっ
止めて…

ぢゅぷぷっ
待って…
そんなことっ！はうううッ
ぬちゅ
ぬちゅ
ぬちゅ
ビクッ
ビクッ
ぬちゅ
ぐちゅ
はあっ
あ…っ
たっ…拓郎っっ
ぢゅぷぷ♡
ぢゅぷ♡
ビクッ
ビクッ
ビクッ
あうッ…
もうッ
やめてッ

た…たくちゃん…
ボク止めないよ！
ママを気持ちよくさせたいんだ！
ヒクッ
ハァ
ハァ
だってママはいつも酷い事されてた…
父さんに…
あっ
ぬぷっ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
ダメェェェェッ

拓郎だめっ…それ以上はホントに駄目よ！
ムッ
ぐちゅんっ
あんっ
ぐちゅぷっ
あっ
あっ♡
あっ♡
もうっそんなッ
やっあっあっ♡
ビクッ
ビクッ
ぐちゅぐちゅぐちゅ

はぁ
はぁ
ブルッ
……ヒッ



あぐっ
きゃあっっ！
ブルブルブルッ
あうぅっ…
あぁっ挿れちゃダメっ…
ボプッ
ボプッ
拓郎っ!!ダメ！あぁっ！
ドチュッ
きゃあああっ!!
ハッ
ハッ
ドッ
ドッ

ひぐっ…

ガシッ

んっ

ズチュ

うっ

ズチュ

僕ッママの中に入ってるよッ

ズチュ

はぁあッあったかい…ママと繋がってるっ

ギッ

ギッ

はぁあっ

ズチュ

ズチュ

そんなこと…言わないでっ

あっ

ズチュ

パン
パン
拓郎が…中に入ってる…！
あんっ
あッあっ
あぁっママ…ママッ好きだよっ
パン
パン
はぁんっ♡
ブチュ
ブチュ
ブチュ
ブチュ
ブチュ
ママが大好きなんだっ！

あっあっ
ズッ
ぐぐ…
ズッ
やめっ
ズッ
ぎゅっ
ドキッ
…！
ママっ
周一さんに抱かれる事が無くなって以来…
あっ♡
あっ♡
ぎゅう
あぁ…
ママッ
ママぁッ
たぷっ
ドキッ
たぷっ
こんなに激しく求められ…抱かれたことなんて無かった…
あんっ♡
ぎゅ
好きだッ…
たぷ
たぷ
ドキッ

でも…その相手が実の息子だなんて…

ちゅぱ

ぢゅるる

んっ♡

んっ♡

ぐちゅ

ぐちゅ

ぐちゅ

ママ…これからは僕と2人で暮らしていこうよっ

ハァッ

ハァッ

お願い…っ

あぁ…私は息子を受け入れてしまった…

プイッ

……っ

……ッ

ぐっ

ぐっ

あっ…

ムニュッ
ママのお尻やっぱり大きいっ…
ちょっと！拓郎…ッ
お尻でパンパンに張り詰めたスカート…
いつも目で追ってた…！
ぐにっ
はうぅッ
ずぷぷぷぷぷぷ
あっあああッ

ズンッ
ビクッ
ッ…
ママのお尻バインバインっ
跳ね返されるっ!!
バチュ
バチュ
バシ
バシ
拓郎っ待って！落ち着いてっ
これ以上はっもうホントにしちゃダメっ!!
いやっ
やめてっ
抜いてっ
バチュ
きゃぁっ
バンバンバン
ぐんっ
あおっ
あはッ♡
バンバン
ぶるっ
ぶるんぶるんっ
いやあっ

あっ
ママッ
あっ
ダメ…このままじゃ…
ママッ
どうして僕を受け入れてくれないのっ!!
あッ痛いッ!!
あっあっ
あっ
ズッ
ムギュゥウッ
ギッ
ズブッ
ズブッ
僕だけッ僕だけだよッ
ばちゅ
ばちゅ
ばちゅ

僕は…ママだけを愛しているのにッ
ぐっ
ちゅぷっ
…ッ
ズチュ
ズチュ
ズチュ
……拓郎…
はぁっ
ズッ
はっ
父親からいつも見下され認めて貰えなかった拓郎…
ママッ
拓…ちゃんっ
そんな拓郎を守ってあげられなかった私…
そんな私を…
好きだ…好きなんだ…ママが…
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ

素直でいじらしく…
…本当に可哀想だった…
ドキ
拓ちゃん…
ドキ
ちゅっ
ちゅっ
プニュッ
ママッ!?
ちゅっ
ちゅぐっ…
ガシッ
ハァ…
ママ…
ぷたっ♡
ハァ
今日だけは好きにさせてあげよう…
うん…♡
拓ちゃん…

ずんっ
ぐちゅんっ
あっ…あ
あぁんっ
ママが受け入れてくれてる…
あっ♡
はぁ♡
ママッ
拓ちゃんっ…
はぁ♡
僕…ママとセックスしてるっ!!
ぐちゅぽ
ぐちゅぽ
ぐちゅぽ
ずちゅ
ずちゅ
ママァッ

ぎゅうう
あっ
好きっ
大好きだっ
あっ
あんっ
ぱちゅっ
ぱちゅっ
パン
パンッ
パン
パン
パンッ
ママッ
僕ずっと…
ママとこうした
かったんだ…!!
ママぁあッ
パン
パンッ
パンッ
ママッ
あっあっ
たくちゃんっ
ママぁ

じゅぽ
ママっ♡好きッ♡
じゅぽ
ずゅぽ
ずゅぽ
あぁッ♡
あぁッ
ズポ
ズポ
ズポ
ズポ
ズポ
ママっ気持ちいいっ
いっいくうううっ
ぱぁん
ぱぁん
ぱぁん
ぱぁん
ぎゅうラッ
あッ
あッ
ママっいくうっ

ずりゅずりゅ
ブリュッ
ブビュウウ
イグッ
ままああああ
ぐるぐるぐるぐるぐるぐる
んんんっッ♡

ビュルッ
はぁッ
ああっ
ビュッ
ビュルッ
ピクッ
はぁっ…
ピクッ
はぁぁっ…
ママ…♡
トクン
トクン
ピクッ
はぁっ…

はぁっ
はあぁっ
ドサッ
はあぁーっ
ママァーッ！
あんっ
ハァ
ママ…
好きだよ……
大好き…
もう父さんに
あんな事
させないッ！
僕がママを
守るから…
はぁァ…
ハァ
拓郎…

ママ…

明日は…

おばあちゃん…家…だね…

愛してる……

……

すう…

すー

すー…

ちゅう

今だけはこのまま……

おばあちゃん！

あらぁ！拓ちゃん！みゆき！さぁさお上がんなさいな!!

みゆき…拓郎から話は聞いてるよ

しばらくここでゆっくりしなさい

ありがとう…お母さん…

卒業
拓郎！お風呂いいよ～
うん…

それでねみゆき…明日朝から地域婦人会の慰安旅行なのよ…

うん…急に来てごめんねお母さん

ううん…私はいつでも大丈夫よ…周一さんが落ち着くまでウチに居ていいからね…

ありがとう…お母さん

心配要らないよこの田舎でのんびりしなさいね…

…お母さん…

……

ママ
僕大学なんか行かずに働くよ！
拓郎…
ううん拓郎は勉強して大学へ行きなさい！
ママねまとまった貯金あるのよ！それにママだって働けるのよ！
拓郎は心配しないで勉強！勉強！ねっ！
さっ朝ごはん食べよ！おばあちゃんちの朝採れ野菜美味しいよ！
うん！
ん～美味しいね！
ね！
ママ…色っぽい唇…あの口で僕の…

…お腹がいっぱいになったらセックスがしたくなってきた…

ぱちゅっ

ぱちゅっ

ママだってきっとそうだ

父さんもおばあちゃんも居ない…今すぐヤリたい！

ムク ムク

ガタッ

え…？

あっ拓郎…？もうダメよっ

ドスン！

あぁっ

ママ…
僕はママを
愛してる…

ママも…
僕のこと
愛してくれてる
よね…？

…今の拓郎は
愛情より…
身体を求めている…

拓郎…

これまでの拓郎は
小さく殻に閉じ籠っていた…
そうさせていたのは私…

その拓郎がこんなにも
強く求めている…

拓郎…
ママも拓郎を
愛してるよ…

私は母親として…
身体ごと受け入れてあげたい…

ママ…っ

ずっと真っ直ぐに私だけを想ってくれてたこの子…

拓郎もずっと辛かったね…

ぎゅうっ

ううっママーっ

ムニュッ

拓ちゃん…

今は周一さんも居ない…

グリッ

……

思いっきり甘えさせてあげよう

ねぇ…拓ちゃん…

おっぱい…飲む…？
…うんっ!!
おっぱい飲みたい！
ハァハァ
おひざにおいで
拓ちゃん♡
ポンポン♡
ドキ
ドキ
わあっ♡

ひざまくら なんて子供の時 以来だね…
なで なで
ムニ♥
ムニ♥
うん… 気持ちいい… ママ…
まってね… 今おっぱい 出すからね
プル
プル
おっぱい…♥
ハァ
うんっ
ハァ
スル…
プルン
ゴクッ

プチ
ドキ
ドキ
どうぞ
わっ

タプッ
あら♡ごめんなさい
ぷるっ
ハァ
はいアーンして
プルッ
ハァ
ハァ
ズキ
ズキ
ハァ
ほらアーン
ドキ
ドキ
あっ
あむっ♡
はぷっ♡
たくちゃん…

ぷくんっ
ハラ…っ
ぢゅっ
ハァ
ピクッ
うわぁ
しあわせ…♡
ぢゅっ
ハ
美味しい…っ
おっぱい♡
ネチュ
ネチュ
まんっ
しっ…
まんっ
ぢゅっ
ぢゅっ
はっッ
ちゅぽんっ
あっ…
ぱくっ♡
ビクンッ♡

あぷっ
もうチンコ張り裂けそうっ！
ムズ
ムズ
ズキ
ズキ
はぁっ
！
ぐっ
拓ちゃんも脱がせてあげるね…
ドキ
ドキ
んっ
チンコから滅茶苦茶に汁が出てて恥ずかしい…
ああ～ッ ママっ… チンコ触って！
ズルッ
ビイイイッ
ぬちっ
あっ…
くふッ！

あうっ♡ うぅぅッ
ママッ♡ ママ〜ッ♡
たくさんおっぱい飲んでね…♡
クチュ クチュ クチュ
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
トプッ
じゅんっ♡
ふふっ♡ かわいい私の赤ちゃん…
ぎゅっ

ぐちゅぐちゅ
ビクッ
ふーっ
ふーっ
ビクッ
ママァッ♡
ゾクッ
ゾクッ
ママッ♡
チュコ
チュコ
チュコ
チュコ
んーーッ
んおああッ
ガクガク
ビクッ
ビィィィン
ママッ♡
あっ あっ
うんっ♡ 気持ちいいもんね拓ちゃん
ガク
ぢゅー
ぢゅー
ぢゅー
ガク
気持ち…いいっ♡
ぢゅー
うんっ♡
あうっママッ
うんっ♡
いっぱい出していいのよ…
ぐちゅ
チュコ
んっんっんっっん~ッ
ぐちゅ
チュコ
ガク
ガク

むふーっ
むふーっ
あぁっ
もう出そう！
ちゅく
ちゅく
ちゅぱ
ちゅぱ
んんっ
れる
れる
れる
くにゅ
くにゅ
ぴくッ
ぴくッ
イクっ
僕っ
イクッ
うんっ♡
あっ♡
あっ♡
あっ♡
いいよ
拓ちゃんっ
ぐちぐち
ぐちぐち
ぐちぐち
ぐちゅぱ
ぢゅー
ぢゅー
ビクッ
ビクッ
ママっ
イクぅッ
ぅぅぅー

でるぅぅッ♡
ビュビュッ!!
ビクビク
ビクッ
はッ
ちゅく
ちゅく
ちゅく
ちゅく
はぁっ
ビクビク
ビュッ
ビュルッ
はあぁぁっ

はぁっ
はぁっ
ママあ…
ふぁあ
きゅうう♡
きもち よかったね…
はぁっ
よかった…♡
ん…♡
んちゅ♡
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
はぁ…
れる
れる
ん…
ピクッ
ピクッ
なでなで
ガク
ガク
ムク
ムク
……あ…
ママ…
舐めてほしい…
拓ちゃん…

拓ちゃんの…もう硬くなってる…
ちゅっ♥
ぬるっ
ハァッ
ちゅぱ…
ちゅぷっ
ぐいっ♥
ぐいっ♥
ペロペロ
あんっ…
ちゅぱ
ちゅぱ
くちゅ…♥
うっ
あっ…

んっ…
ママ…おっぱい吸われて気持ちよかった…？
ハァ
ハァ
ドキ
ドキ
ズルッ
はぁ…
ぬちゅっ…
ハァ
…ん…
あ…
ぬぷ
あっんんっ
あっあっ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ママ…ッ挿入れたいっ！
ママの中に挿入れさせて…ッ
ハァッ…いいよ

ママ…
はぁ
はぁ
ぬぇ♡
ママ…キレイだ…
拓ちゃん…あまり見ないで…

ちゅっちゅぽっ
くちゅっ
ちゅぽっ
ちゅっちゅっ
はぁっ
はぁっ
んっ…
ちゅぽっ
ぬるっ ぬるっ
はぁっ
はぁっ
んぁっ
ちゅぽっ…

ずっ
あっ…
あーーっ…
ビクビクッ♥
ズッ
あっん…
やっああああっ
たくちゃんいきなりはっ…
ビクッ
ぐぷっ
ぐぷっ
ぐぷっ
ぐぷっ
ぐぷっ

ママの中…あったかい…
あっ
ちゅっ
はぁんッ
レロレロ
あっあっ
ぢゅ♥
たくちゃんっおっ奥苦しいッ
アッアッ
ああぁッ
はぁッ
はぁッ
パンッパンッパンッパンッ
ぶるんっ
ビクッ♥
ああっ
ビクッ♥
ジク♥
あんッ
ぐちゃ
すごい愛液出てるっ
ぐちゃぐちゃぐちゃ
ドチュッ
はあぁんッ
ビキビキッ♥
ママをもっと気持ちよくさせたい！

今まで隠しカメラで見ていたママの裸…

今…僕が自由にしてる…

ズパンッ

あっ♡あん♡

はっ♡

ズチュッ

ズチュッ

はぁっ♡

ズッ

はぁはぁっ♡はぁっ♡ああ〜っ♡

ズパンッ

ズパンッ

ズパンッ

ズパンッ

はぁあっ♡

甘い吐息を吐きながら…

はっ♡

いやらしい声をあげて…

ママッ!!僕と父さんどっちが大きいっ!?
パン
パン
パン
パン
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
あっ
はっ
…あッ
はぁっ
…ッ
ズッ
ズッ
はっ
ハァ
ハァ
ねぇってばママっ
ズリ
ズリ
ズブ
パン
パン
あぁッ♡

たくちゃんやめてぇっ
やめっお願いっ
ドチュ
ドチュ
ドチュ
ドチュ
ドチュ
ドチュ
ブッ
ブッ
どっちのチンポが大きいのっ！
はぁあっまってッ
いゃあもうッ
うあぁっ…くぅうッ
た…たくちゃん…たくちゃん…のあっ
んあっ！
たくちゃんの！たくちゃんの方がッ太いっ…ッ
あっっ♡長いいっ♡
ぐぽぐぽ
ぐぽぐぽ
ぐぽぐぽ

父さんよりもっ…

好き…？

す…き…

ママっ♡

ドチュッ

ずんっ♡

ママっ♡

あぁぁ♡♡♡

ぐんっ

はぅッ…

フラ…

えっ？

あぁっ…

ズチュズチュズチュ
ちょっこんなのッダメッ♡
やっ
あ♡
ズチュズチュ
ああ♡
ドッ
ぐりぐりっ♡
ぬぽぬぽ
だめっ♡
ゴッ
ゴッ
あッ♡
ぬぽぬぽぬぽぬぽ

たくちゃんの突き抜けそうっ…
たくちゃ…奥苦しい…
奥に当たってるッ♡
ドッ
ドッ
いやぁあ
だぱんっ♡
だぱんっ♡
まって…まってぇあっ
ガクッ
だぱんっ♡
スドッ
スドッ
スドッ
スドッ♡
あっ
ガクッ
ガクッ
ガクッ
すごっ♡
いやぁあっ♡
スドッ
突き刺さるッ♡

だ…めっ♡たくちゃん…♡
ぱんっ♡
あぁもうッ
イク…ッ
プルッ
だぱんっ
ビクッビクッ
だめ…イクッ我慢できない!!
子宮にっ届いてるッ
プル
だぱんっ♡
ママッ♡
プル
ちゅぽっ
イク…ッ♡
ガクッ
ちゅぽっ
ちゅぽっ
ママッ♡
イッ♡

ビクッ
あっ…♡
あっ…♡
ビクッ♡
ビクッ♡
ヒクヒク
じゃぁぁ
あ……
ガクガク
はぁ…っ

ママが僕とのセックスでイッてるっ!!

膣内…すごく痙攣してるッ

ヒクッ

ヒクッ

ヒクッ

だっめ

もぉ

イッちゃ

あっ♡

あっ

ズチュ

あぅ♡

ガク

ガク

ママっ

ママ♡

ママッ♡

ガク

ズッ

ズチュ

ブッ

ブッ

僕もイクッ♡

イクよ

あッアッ

ドチュ

ドチュ

ドチュ

んあぁっ

たくちゃんっ

あぁっ♡

ブル

ブル

ガク

ガク

ドチュ

イクッ

イクッ

ズボッ
ズボッ
イクウウウッ
ハアッ
ハアッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ぴゅるっ
ぴゅるっ
ぴゅくっぴゅくっ
あはぁっ
ぴゅるっ
あぁッ
ビクンッ
ビクンッ

ハァ
ハァ
ハァ

すー…
すー…
すー…
すー…
すー…
パサッ

もぞ
もぞ
ちゅぱっ
ちゅちゅっ
ペロンペロンッ
ちゅぱっ
チュン
チュン

ちゅーッ
ぴくっ…
…んっ
チュン
チュン
ちゅぱっ

ちゅうちゅう
たくちゃんは本当におっぱいが好きね…
覚えてる？四歳までずっとおっぱい吸ってたのよ…
……
僕赤ちゃんみたいかな…
ふふっ赤ちゃんはこんなにクリクリ乳首をイジったりしないわよ！
もーママ笑わないでよ！
はいはいごめんねたくちゃん
ねぇ…ママの部屋ってまだあるの…？
うん！多分昔のまんまよ…
ママ…お願いがあるんだけど…
ん…？

わぁっ！ママ可愛いっ！
そんな…ママもうおばさんよ…？
そんな事無い！メチャクチャかわいいよ！
そう…？
ピチッ♡
目が離せないくらいかわいいよ……
ぎゅっ…♥
たくちゃん…

スカートめくり！笑

ペロッ

きゃッ もうコラっ

あんっ……たくちゃんやめなさいっ

ちゅっ♥

だってママの制服姿…こんなに可愛いんだもん…

ママが同級生だったら良かったのにな…

ピク

あっん…

スゥー ハァー スゥー

いい匂い♡

ヌチュ ヌチュ

ベロン ベロン

ヌル ヌル

チュパッ チュパッ

ぷくっ
あっ
んっぁ…♡
ぷくっ
ぷくっ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ビクビクッ
ママも…
んッ…♡
たくちゃん
みたいな男の子と
出会ってたら…
良かったなぁ…
ママッ…♡
ハァッ
ハァッ

ん…ッ♡

ぬぷぷぷ…

ママが処女だった頃
過ごしたこの家で…

制服のママと……

あっ

ズブッ

ぐちゃ
ぐちゃ

はっ

ああっ
たくちゃん
またいきなりッ

ママは高校を卒業後
就職先で父さんと
出会った…

プル
プル

あーっ

父さんは
制服姿のママを
知らない…

ズブッ

ズブッ

ああっ

ズチュ

ママは僕の初体験の相手…僕の彼女…!!

ちゅうう♥

はぁあっ♡

ゾクゾク

はぁっ♡

ぷるっ

あっ

ぐりぐり

ぴくっ♡

ひいっ♡

ぢゅぢゅぢゅ

うっうっうっ

ママ…もし僕とママが同じクラスだったら…
僕と付き合ってたかな…!?
うんっ…
きっとたくちゃんを好きになってた…

ママッ♡
ママぁ♡
大好きだ…
あぁぁっもう出ちゃうっ
いいよたくちゃん
はぁあっ出るっ
気持ちいいっっママっママ！出るっ！
ぜーーーるッッ
ママッ♡
あッ♡
ハァッ
ハァッ
ハァッ
ハァァッ

はっ
ぐっ
ズポッ
イクッ
ビュルッ
はぁッ
ビッ
はぁッ
ビュルッ
ビュルルッ
ビッビッ
ドッ
ドッ
くはぁあッ

ハァ
ハァ
ドンッ
ママ…
大好きだよ…
たくちゃん…♡
……
ママの青春時代の思い出が
いっぱい詰まった部屋…
なんだか不思議だ…

ママはずっと僕にとってママという存在だった…
でもホントは僕のママだけじゃなくて
みゆき…という一人の人間なんだ…
すー…

ママには僕が生まれる前の人生があったんだ…
こんな事当たり前なのに何故だか今ママが別の人に見えて遠くに感じる…
すー…
すー…
僕が知らないママ…

ぎゅっ
ママ…
…ん

どうしたのたくちゃん…
ママッ…
どこにも行かないで…ずっと僕と一緒に居て…ッ
どうしたの？怖い夢見たの？

落ち着いてたくちゃん
ちゅっ
心配しないでママはずっとそばにいるからね…
ちゅう
ちゅう
ちゅっ
ちゅっ
うっ
う…
ママ…♡
愛してるわ…たくちゃん…
ちゅっ
安心しておっぱい吸って…
ちゅっ
ぐすっ
ちゅっ
ゆっくりおやすみ…

次の日

じゃあちょっと行って来ま～す

気をつけてね夕飯美味しいの作るからね!!

今日はママの誕生日だ

ちょっと遠いけど昔ママとおばあちゃんと行った隣町のデパートまで行ってみよう

とびきりかわいいケーキを買いに行こう

ママ喜んでくれるといいなぁ…

！

ガーー…

ガチャッ

たくちゃんおかえり！早かったのね…

そろ〜〜
色々探してたら遅くなっちゃった！
見付からないようにこっそり冷蔵庫へ…
ガタガタ
ガタ
…ママ…？
ガーン
パンッ
パンッ

いやっいやあぁッ
パンッ
パンッ
パンッ
ああああぁッ
パンッ
なっ!? 感じてんだろッみゆきっもう一度やり直そうや
もうやめて…拓郎が帰って…
ズリュッ
あなた…ああああぁッ
俺たち夫婦だろ!?
ズリュッ
ぶるぶる
ズリュッ
ぶるぶる
パン
ズリュッ

オラッ また出すぞ！ しっかり孕めっ
ズボ ズボ
あのボンクラより もっとイイ子を 産んでくれっ!!
いやっ!! 周一さん 膣内は いやっ!!
ズボ
あ～っ!! でるでる でるぅッ
ぐぐぐ ラッ
ドピュッ

ほっ
ビュルッ
あっ…あ…
ビュッ
ふぉおッ
ビュルルッ
ふーッ…
ドポッ
ズロンッ…
ハァッ
ハァッ
おーおー しっかり 種付け出来た
ボロ
腹の中 精子だらけ だな…
ブル
ヒクッ
トクンッ
ニヤァ…
今度は イイ子を 産めよ…

ほらみゆき♡
んうッ
ぐっ
仲直りのチューだ！
唾液もしっかり飲めよ…
ぐぐ……
みゆきぃ…やり直すよな？大事にするからさいいだろ？
ハァッ
ハァッ
……ッ
コクン…
!!

ポン
ふぅ〜
ブル
ブル
分かったかみゆき？婆さんには上手く言っておけよ…

拓…ちゃん…
あ…これは…
カァァ
ガバッ
きゃああっ

ハアッ
ガチャ
ハアッ
ハッ
ズリュッ
グシュッ
くそッ
ドチュッ
ズンッ
ズュブッ
まうッ
ビクッ

ママ！ママはもう僕のものだよね!?

そうだよね!?

あっ

あぁッ

パン

ブル

ブルブル

ブルブル

ジュボ

ジュボ

パン

パン

パン

ブッ

パン

パン

パン

パン

ハァッ

ブジュ

ブジュ

ブジュ

出し入れする度に父さんの精液が溢れて来る…

早く膣内から掻き出さなきゃっ…

パン
パァ
パァ
んんッ
ぶちゅ
ぶちゅ
パン
アー
んぶぅぅッ
あっ♡あっ
うぐぅあっ
ダメッ…
ふーっ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ふーっ
んぐっ♡
んあぁッ♡
パン
もう
父さんと
エッチ
しないでっ
バチュ
バチュ
あんっ
あぁっ
もう
しないよねッ
ママはそんな
人じゃない
よねっ!?
あぁっ
あぁっ
ねぇっ!?
ママっ!!
ぐぽ
ぐぽ
ぐぽ
ぐぽ
バチュ
バチュ
バチュ
んぁあぁッ
ブチュ
ブチュ

ごめん…たくちゃん
イクッ
イクゥッ
ズチュ
イクッ
ハァッハァッハァッ
パンパンパンパン
ズチュ
ぐぽぐぽ
ぐララッ
ビクビクッ
プシッ
射精るッ
ドピュルル
ぁぁぁぁぁぁ♡
ドプドプ

ビュクッ
くあっ
ビュクッビュクッ
はあッ
こんなんじゃ足りない！
ハア…
もっともっと精子を入れ替えなきゃっ!!
んああッ
ハアァァ…
スロロ…
ズ
ブチュッ
えっまだッ…
あッあッだめぇッ
ジュブ
ジュブ
ジュブジュブ
ジュブ
あっ
あっあ♡
んああッ♡

パン
バチュ
あぁぁ
あっあっぁ
ハァ
ハァ
バチュ
ハァッ
ハァッ
もっ♡まだ
おぉぉ♡
パン
パン
バチュ
ブル
ブル
ブル
あっ♡あぁんっぁぁ♡！
はっぁ♡
ガクガク
ビクビク
ぁぁ♡ぁぁ
ぁぁ♡
ぁぁ
ぁぁ♡
ぁぁ
ぁぁ♡

ズチュ
ズチュ
ぱっ
ぱっ
はぁぁ
ズチュ
いやぁぁ
ママを愛しているのはッ
僕だけだっ!!
ママとセックスしていいのはッ
僕だけだッ!!
ズドーン
あぁぁっ♥
もラッ
わるしてッ

あっ♡
ハァッ ハァッ
ママ射精すよッ
ハァッ
バチュ
バチュ
バチュ
バチュ
バチュ
バチュ
バチュ
バチュ
バチュ
バチュ
アアッッ でるッ
ママ出るよおおッ
あんっ あっ♡
おおッ
ビクウウ
ビクビク
グイッ グイッ
あっ
あ♡
あ♡あ♡ッッ♡

ハァッ
ハァッ
ズチュ ズチュ。
怖かった…
敵わないと思った
それでも…ママは渡さないっ!!
ハァッ
ハァッ
ハァ…
あっ…
ハァ…
ハァ…
ガク
ガク
ガク
ユサ
ユサ
グチュ
グチュ
グチュ
グチュ
グチュ

ズブ ズブ
ズブ ズブ
ハァッ
ハァッ
ハァッ ハァッ
ママッ 愛してるッ
ビク
ビク
ビクッ
ハァァ♡
大好きだッ
ドプ
ドプ
ドプ
ドプ
ハァッ ハァッ
ビク
ハァッ…
あっ…
あ…

ハァッ
アハッ
ハァッ
ハァッ
ビュク
ビュク
きゅうう
トプ
トプ
ママ…
僕もう8回もママの中でイッたよ！
もう…父さんの精子なんて一滴も残ってないよ！
フラ…
子宮の中が熱い…
きゅう…
拓郎…

ママ
一緒に幸せに
なろう…
…うん
ドス
ドス
ドス
ドス
ドス
ドス

周一さん…
ごゴゴ
バッ
この…ッ
あっ
あなたっ!?
貴様ああああッ
ドスッ
ドスッ

グォ

お母さんっ!?

…うぅっ

畜生がっ!!
ドスドス
ガチャ
……っおばあちゃん…
お前たちも…もう…ここに置いてはおけないよ…
ハァ
ハァ
ハァ
明日…朝になったら出て行っておくれ…
……ッ
ごめんなさい…お母さん…
いいえ…
今すぐ…出て行きます…

ブロロ

次は終点〜

終点です

ブロロ…

あ…

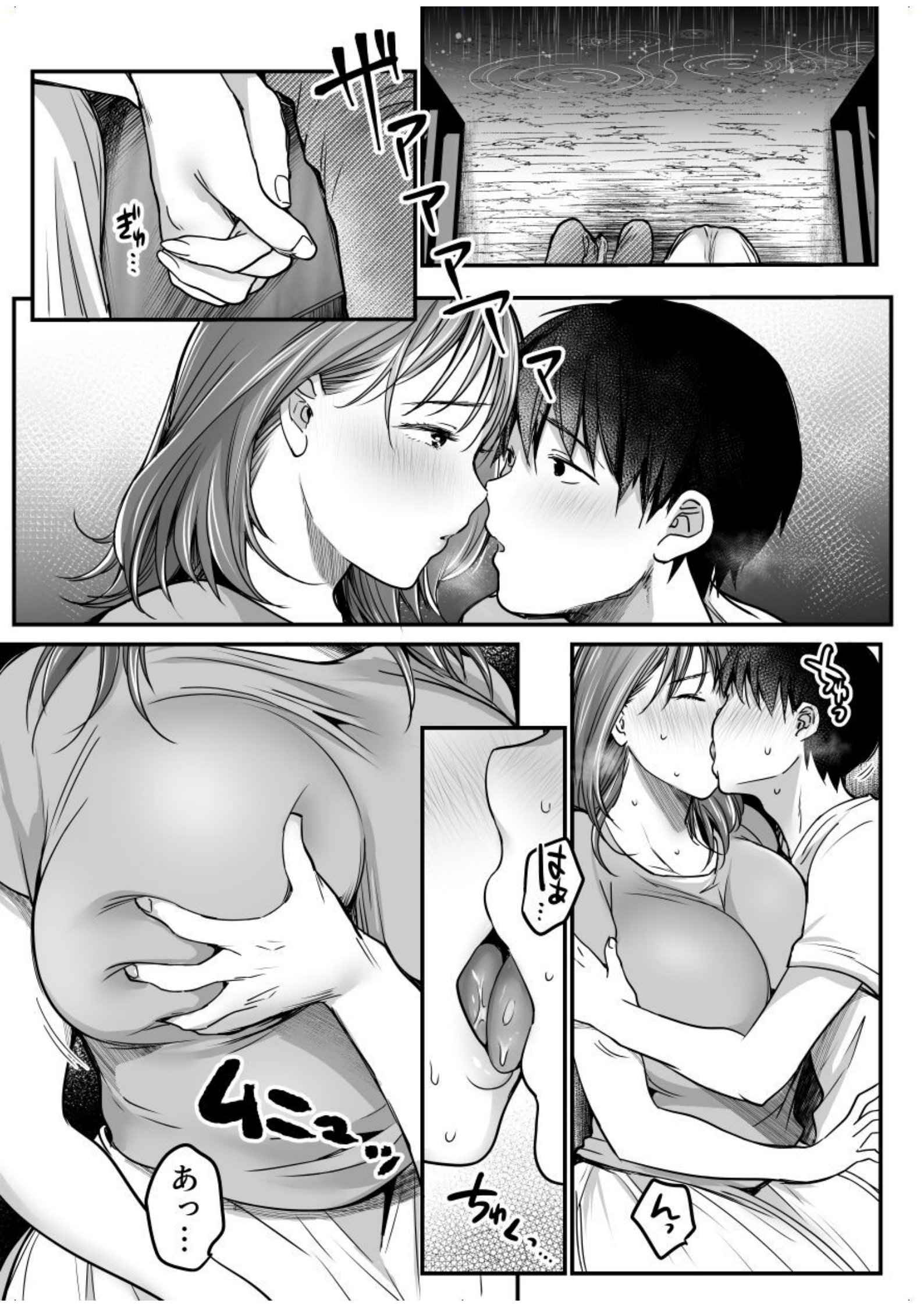
今日の便終わってる…

ザァァ

ポッ
ポッ

ママごめんね
僕がおばあちゃん家に
行こうなんて言い出し
たから…

ううん
もう…いいのよ
拓郎…
お母さんには
私から話をして
おくから…

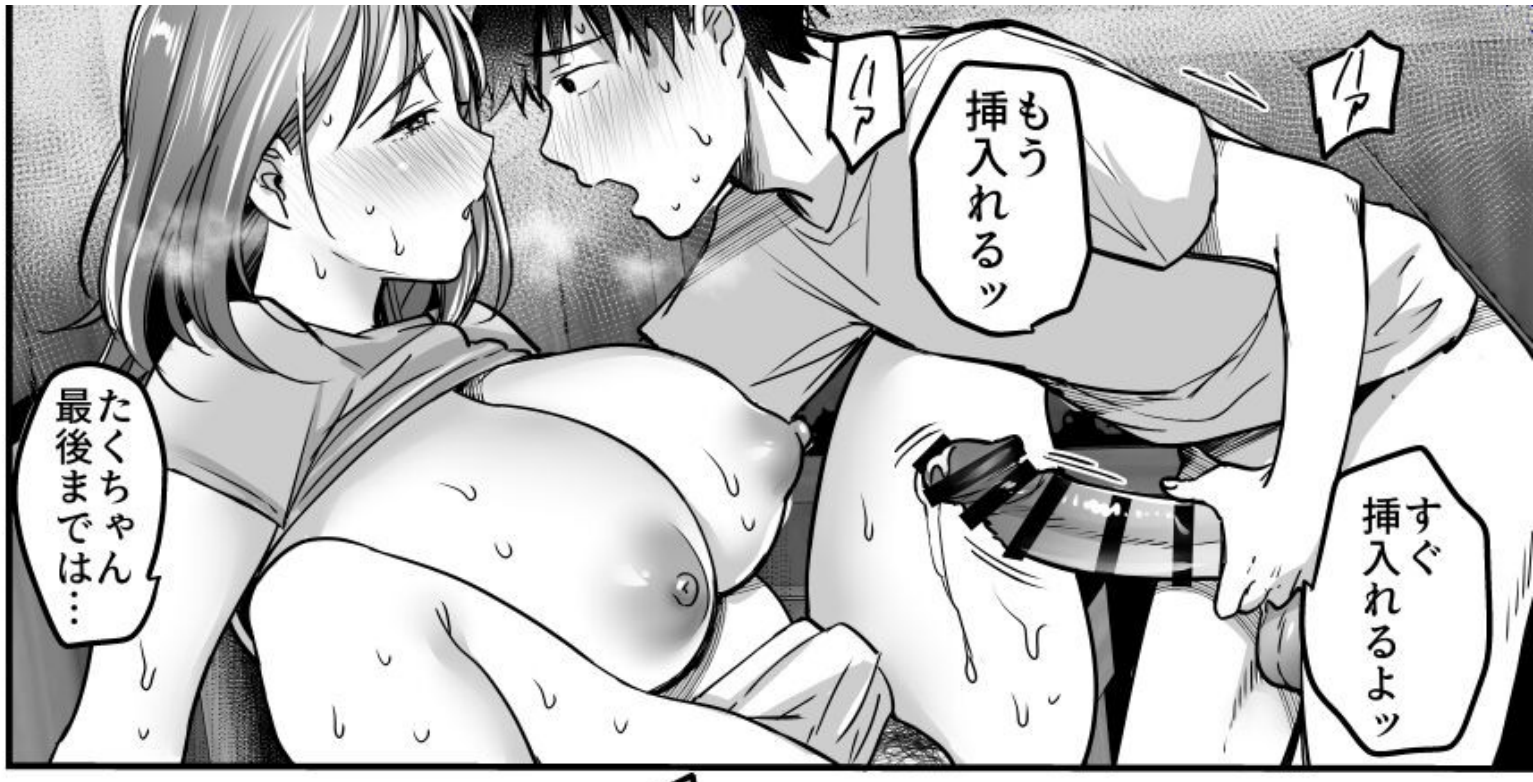

ザアアアアアアアア
ぎゅ…
ちゅう
はぁ…
ちゅく…
んっ
ムニュッ
あっ…

ちゅっ
あっ…あぁ…
たくちゃん…人が来ちゃうよ……
ちゅっ
ブルッ
んっ…♡
ザァァァ
ママ…もう誰も来ないよ…
ボロンっ

ちゅぱっ♥
あっ
たくちゃん…
ピクッ
ピクッ♥
ちゅぱ ちゅぱっ
あッ♡
ああ あんっ
ドキ ドキ
あ… あん
ズキ
ズキ
はあっ あんっ♡

ママ…ッ
あ…
ドキ
はい…♡
ドキ
ヌル…
ヌル♥
ヒクン♥
クリ
ハァッ
ハァ
ちゅぷぷっ♡
あっ
あぁんっ

んっ
んんっ
はぅう♡
ヌチャ
ぢゅぱっ
ハァッ
ハァッ
ぢゅるるるっ
ぢゅぶっ
ぢゅるっ
ぢゅるっ
ヌチャ
ヌチャ
ビクッ
っんぁ♡
あっ
あっ♡
ああっ
気持ち…いい…ッ♡
ビクッ
ブルンッ
ハァッ
ハァッ
あはぁ
ヌチュ
ヌチュ
ミシッ
ミシッ
ミシッ
あうッ


ハァ
ハァ
もう挿入れるッ
すぐ挿入れるよッ
たくちゃん最後までは…

ちゅっ
ちゅくっ
いや！挿入れるっ
ママッ
ぐにゅ
ぐにゅ
もう…たくちゃんッ
あぁぁっ
ひぁっ
ズニュンッ
はぁぁぁぁんっ

はっ
ママ…温かい…
はぁあ…♡
あっあっ♡
はんっ♡
ズプ♡ズプ♡
ズッ♡ズッ♡
はぁっ♡
あっ…はぁあ♡イイ…♡
ズッ
あんっ♡
ぐちゃぐちゃ
ママ…ッ
ママッ♡
ヲプッヲプッ

はっ♡
ぢゅぽ
ぢゅぽ
ぢゅぽ
はぁっ♡
ズクン
ズクン
はっ♡
ぢゅぽ
はっ♡
ぢゅぽっ
はっ♡
はっ♡
ぢゅぽっ
あぁっ♡
ゴッ
ぐぽっ
ぐぽっ
ゴッ
あはっ♡
ぐぽっ
あっ♡
ぐぽっ
あんあっ♡
あんっ♡
あっ♡
ぶるっ
ぶるっ

ザァァァァ
パンッ
パンッ
パンッ
はぁっ♡
はぁ♡
あっあっ♡
あっ♡
あっ♡
たくっ…ちゃんっ♡
パンッ
ジュポジュポ
はっ
はっ
ピチャ
あっ
ジワ
んっ♡
はうっ♡
ムム♡
レロッ
あっ♡
あっ♡
ンチュッ
ンチュッ
あっ♡
んーーッ♡
ぢゅぷっ
んんーーッ♡
ジュポジュポ

ハッ
ハッハッ
ママッ
ハッ
じゃぼじゃぼ
じゃぼじゃぼ
ああ♡
あっ♡
奥届いてるッ♡
当たってるぅ♡
ママッ
ハッ
ハッ
あっ♡♡
ハッ
ハッ♡
ハアッ♡
ハアッ♡
あぁぁあ
ぱぱっぱぱっ
ブルン
ズコ
ぱぱっぱぱっ
ああっああ！
イクっイクぅっっ
ママっ
愛してるッ！
また中に
出すよッ!!
ママッ
でるぅっ
イクッ

あ♡
ビクッ
ビュルッ
ドプドプッ
あぁぁぁ♡♡♡
ハッ…
ハッ
ハァッ…
ビュルッ
ママッ…♡
ビクッ
ビクッ
ビュクッ
ビュルッ
んん♡
はぁっ♡
ゴプッ

ザァアアア

ハァ…

ちゅっ

アッ…！

ちゅっ

ハァ…

ちゅぷっ

ハァ…

あぁ…

ふぅ…

ふぅ…

ズロ。

ヌポン

トポッ

んっ…

ママ…
ママはずっと
僕のものだよね…

たくちゃん…

ザァアァァ

こんな…ママでもいいの…？

ママがいいんだ！

プルッ

くぷっ

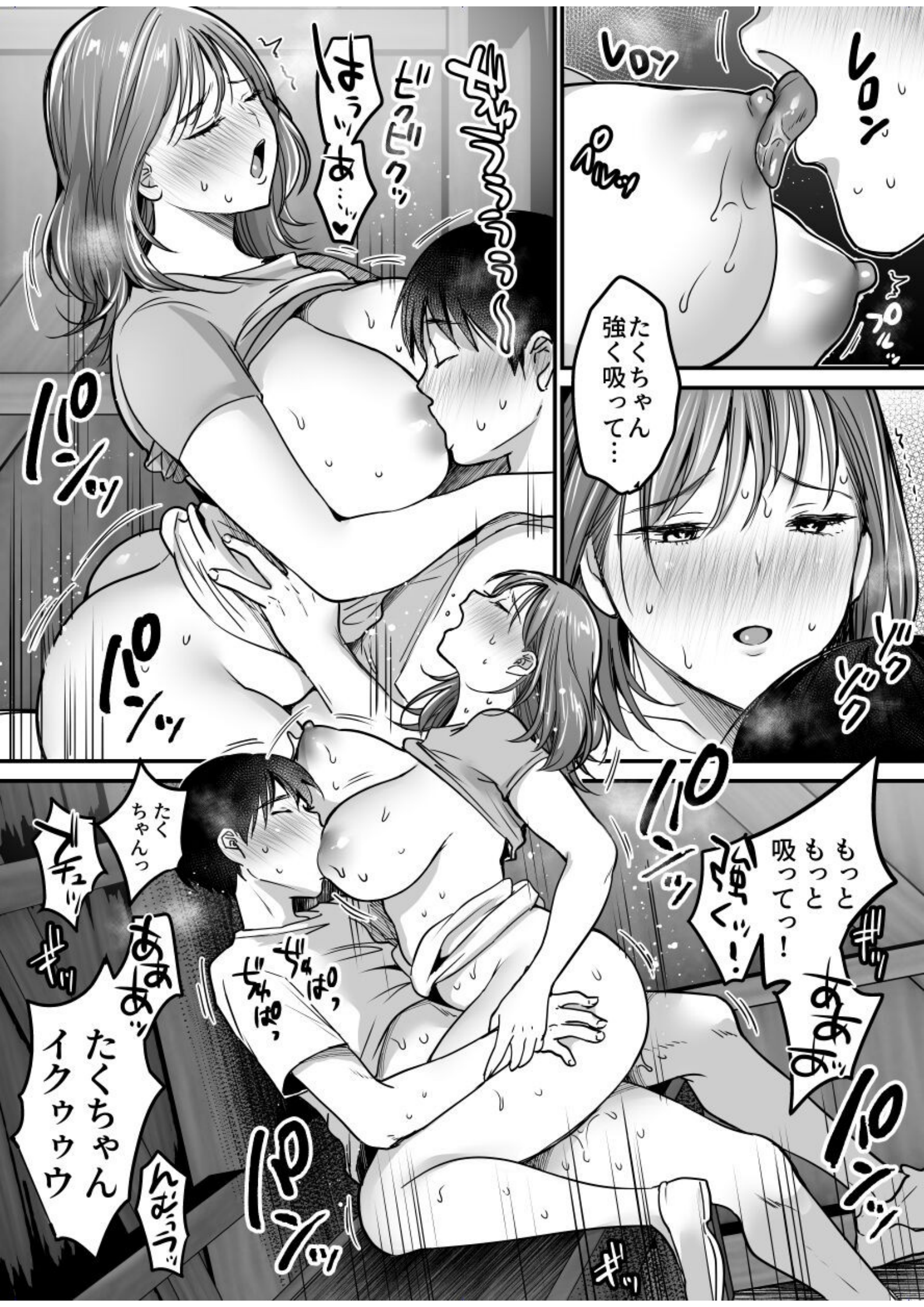
ドク…

ヌプププ…

んっ…♡

たくちゃん…♡

ぢゅぢゅっ
ぢゅるぶぶっ
むはっ
はぁっ
ぢゅずずっ
ぢゅぶっ
はぁん♡
あんっ
あぁぁっ
ぶちゅっ
あんっ
はっ
はぁんっ
たくちゃんっ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
バチュ
バチュ
バチュ
バチュ


レロン
レロン
プルッ
たくちゃん強く吸って…
ゾクゾク
もっともっと吸ってって！
強くッ！
ああぁッ
パンッ
パンッ
ぎッ
ぎッ
ぢゅぱっ
ぢゅぱっ
たくちゃんっ
ぢゅッ
ああぁッ
たくちゃんイクゥゥウ
んむぅッ
パンッ
パンッ
ぎッ
ぢゅぅぅぅ～
ビクビクッ
はぅッあ…♥

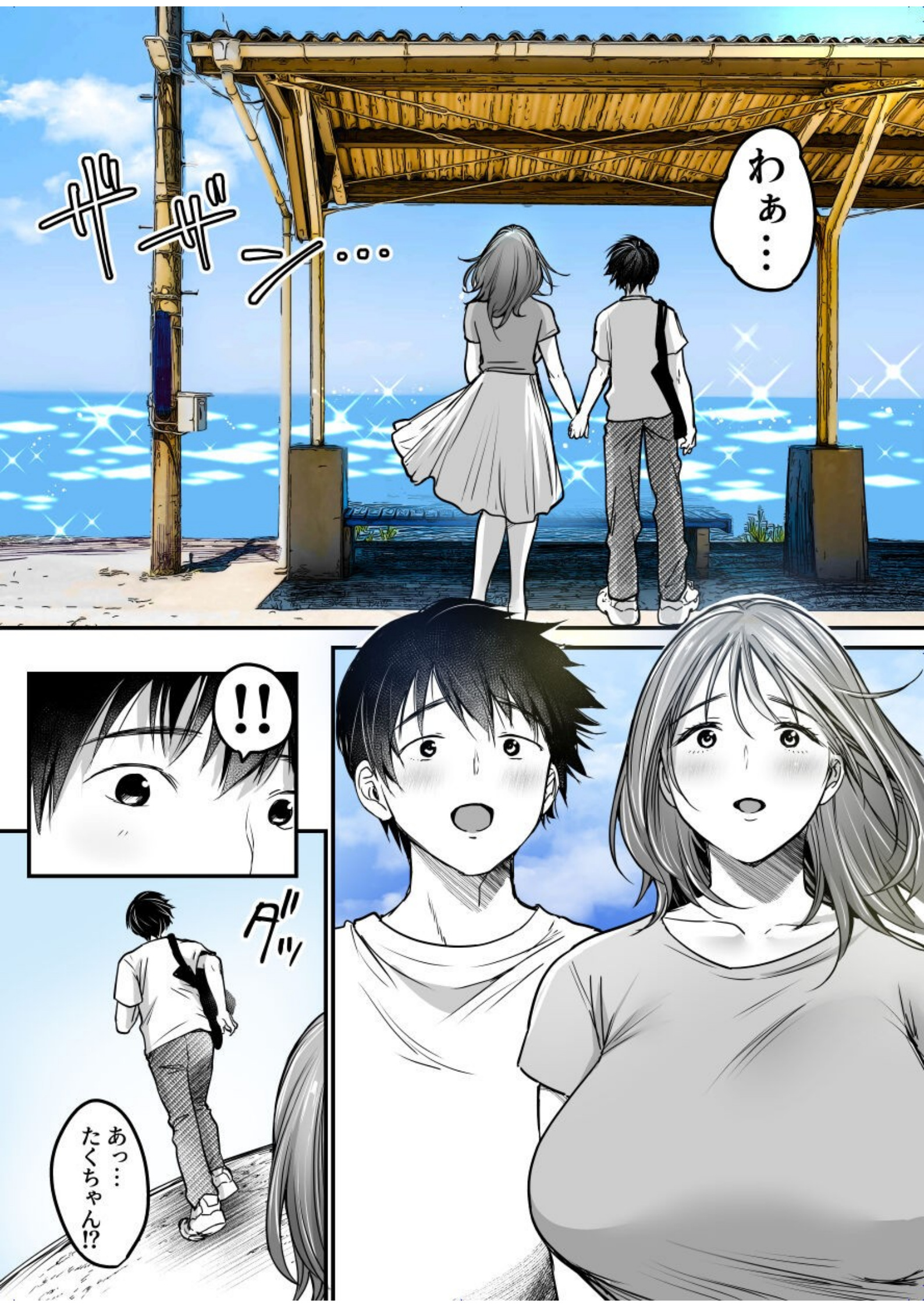
ドクッ
ああっすごいッ精子ッ…入ってくる…ッ
あつい
ビクッ
ビクッビクッ
ドクッ
ぬぽんっ
ああっ抜いたら出ちゃう…
ドクッ
ママッ
ママッ
ちゅぷ
くちゅ
あはぁぁ
ブルッ
あっああっ
ぬぷっ
ぬぷぷっ
ズリュ
ズリュ

あっ
ソコっ
気持ちいいっ
ああッ
もっと
もっと
もっとしてッ
パチュ
パチュ
パン
パン
ママッ
ママッ
あぁっ
たくちゃんの
大きいッ
深いいっ
パン
パン
パン
パン
あっ
あっ
あっ
あっ
ママ
好きっ
毎日エッチな
ことして
暮らそうッ
僕ママとなら
何回でも
出来るッ♡
いい〜ッ♡
ほらっ
精子また
出るよッ
いっぱい
出すよっ
出してッ
出してッ
いっぱい
出してぇッ

もう…どうなっても構わないっ
イクッ
イクウ
気持ちイイっ
ママを絶対孕ませるっ！
ズリュッ
イクッ
すごいッすごい…♥
僕の子産ませる!!
パンパンッ
イクウッ

ビクビクビクッ
ドピュピュピュッ
たくちゃん♥♥♥大好きぃぃ
ママ♥♥♥

ガタロロロ…
目的地は終点にある漁師町
そこにはママの幼なじみが居てその家族が営む水産加工工場に住み込みで働く算段だ…
ガタン
ガタン
雨がやんでる…
パチ
そこでふたりだけの生活が始まる
次は終点～豊浜ァ～
豊浜に停まりま～す…
ぎゅっ
いよいよだ…!!
ザザッ


わぁ…
ザザーン…
!!
ダッ
あっ…たくちゃん!?

ママ こっち こっち！
？
タッ
タッ
これ 見て！
ホントだ 雨の切れ間ねっ！
雨がここで 終わってる!!
僕初めて 見た！
ママもよ！
…そうだっ!!
ママ… この雨で濡れて いる所が… ”これまで”
ザッ
ザッ

こっちの濡れていない方が僕とママの〝これから〟だよ!!

ぐっ

ザッ

たくちゃんっ

ぎゅっ♡

ママ…

ママは僕が守るよ

うん

終

お読みくださりありがとうございました。
少しでも楽しんで頂けたら嬉しいです。

サークル
スーパーイチゴチャン

原作
DraGon９
作画
みさおか

MAMA
～ママを守る為に僕がした事～

発行　スーパーイチゴチャン
発行日　２０２３．10．18
発行者　みさおか
連絡先　mail✉　misaoka999@yahoo.co.jp
pixiv　https://www.pixiv.net/users/290106
twitter　https://twitter.com/misaoka9999
FANBOX　https://misaoka.fanbox.cc/

★ご意見、ご感想、リクエスト等いただけると励みになります！是非お気軽にお聞かせください。

✉misaoka999@yahoo.co.jp

⇧FANBOXやってます。ご支援いただけますと嬉しいです！

※本書の無断複製、無断転載を禁じます。